

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2020年10月1日 205号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



大盛況！地球村フェスへのブース出展

9月12日、パシフィコ横浜南口広場で行われた「地球村フェス(主催:世界平和青年学生連合東神奈川連合会)」にレダ・プロジェクトのブースを出展しました。20の国と地域に対して行われている様々な平和運動が、各ブースで紹介されていました。

残暑の日々が続く中でしたが、前日の天気予報は雨で、心配を抱えながらの開催となりました。それでも強く降ることは少なく、小雨や曇りで涼しい天候の中で、多くの来場者があり盛況となりました。コロナ禍でイベントの規制や自粛が続く中で開催されたこともあり、スタッフや来場者からは嬉しい活気が感じられました。

レダのブースは、世界平和青年学生連合中原支部(以下、YSP中原)の青年たちが協力し準備してきました。当日も、チラシ配布、ブースへの呼び込み、クイズでの活動紹介、グッズ販売など、熱心に行っていました。レダに行ったこともなく、支援に関わったこともあまりなかったYSP中原の青年たちが、一生懸命レダのことを伝えてくれたことは、本当にありがたいことでした。

地球村フェスが開かれた午前11時から午後5時まで、レダ・ブースへの入場者はほぼ途切れることなく続きました。チャリティーグッズとして用意したTシャツとクリアファイルも、たくさんの人たちが購入してくれました。多くの人たちにレダを紹介でき、興味を持ってもらい、支援してもらえたことは、本当に嬉しいことでした。

はじめてレダを知る人がいた反面、南北米福地開発協会の会員や国際協力青年奉仕隊・レダ中期ボランティアの参加者、そのような関係者からレダのことを聞き興味を持っていた人、今後レダに行ってみたいという人などにも会うことができました。懐かしの再会があったり、知り合いのまた知り合いで繋がりが分かったり、関係が深まる機会にもなりました。

今回出会った人たちが、今後どのようにレダと関わっていくようになるか、現時点では分かりませんが、何らかの形で共に歩める人が出てくることを願っています。(青年局長 島田記)



講話する岩澤所長

文鮮明天地人真の父母天宙聖和8周年記念聖和大祝祭。9月4日



レダ基地スナップ

伊達勝見氏撮影

満開となったラバーチョ(モモイロイペー)の花。9月2日



豚の予防接種。8月20日



七面鳥の世話をする豊村氏。8月14日



タロイモに鳥害対策をするハコボ君。8月29日



カピバラファミリー。8月17日



大和田氏がピラニアを釣った！ 9月1日



従業員の体温を測る岩澤所長。8月31日



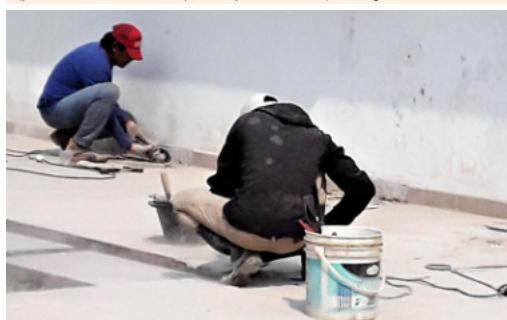
初めてレダで共働き、ソーサ夫妻。8月31日



エスペランサの創立記念日に。9月7日



パブロ君(左)とイスマエル君。8月15日



プールのシャワー場の配管を修理。8月15日



リアチョにてエビの飼料用の小魚を捕獲。



レアビン君がエビの養殖を担当。9月1日

ブラジル 鳥の公園 Parque das Aves (1)



鳥の飼育舎に入って鳥を見る!

現在、世界は新型コロナウイルス感染症のパンデミック真っ最中。もちろん、南米発着の旅も極めて厳しく制限されている。国際協力青年奉仕隊の派遣も、例年と同じようには実行することができず、残念な現状である。例年ならば、奉仕隊は最後の見学地としてブラジルの鳥の公園と世界遺産イグアスの滝を訪れる。ここで前者を少しだけ紹介しよう。鳥の公園は、フォス・ド・イグアス市にあり、パラグアイ国境に近いので、アスンシオンからも路線バスを乗り継いで容易に訪問できる。今年にはコロナ禍の影響で3月17日に閉園され、6月10日に再開されたものの、6月23日に再び閉園された。そして、混雑しがちなスペースを拡張したほか、様々な感染予防策を講じた上で、9月1日によりやく再開されることになった。入園チケットはオンラインで購入でき、9歳以上の一名につき60ヘアル(約1200円)となっている。



この鳥の公園の魅力は、野生状態で見ることの極めて難しい鳥たちを、訪問者が大きな飼育舎に入って、メッシュを介さず直接見られること。鳥たちもよく人慣れしているようで、至近距離まで近づけることも普通にある。美しい鳥や不思議な鳥たちを見ると、自ずとその考案者についてまで興味が及ぶだろう。



色とりどりのアナナス。



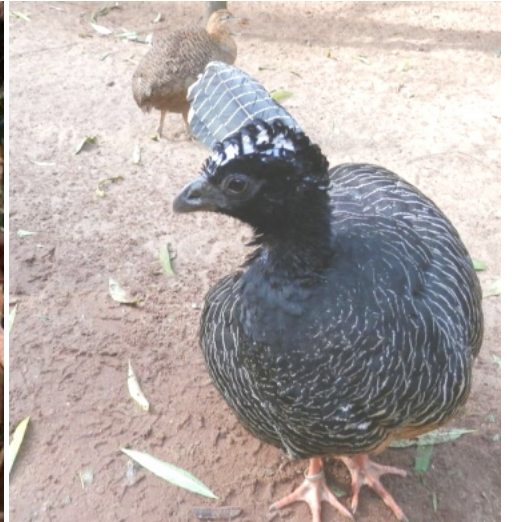
仲よしルリコンゴウインコ。



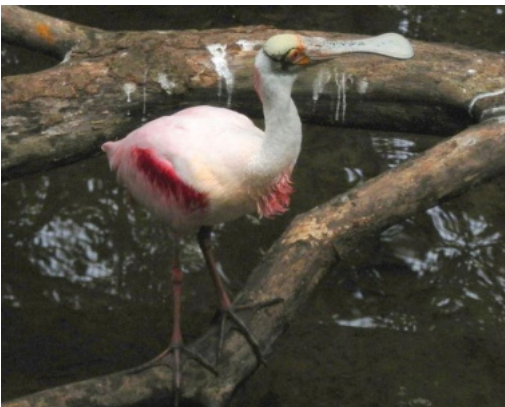
仲よしコンゴウインコ。



絶滅危惧種カオグロナキシヤクケイ (左) と、レダでも見られるオニオオハシ。



独特の冠羽、ハゲガオホウカンチョウ。



レダにも多く飛来する、ベニヘラサギ。



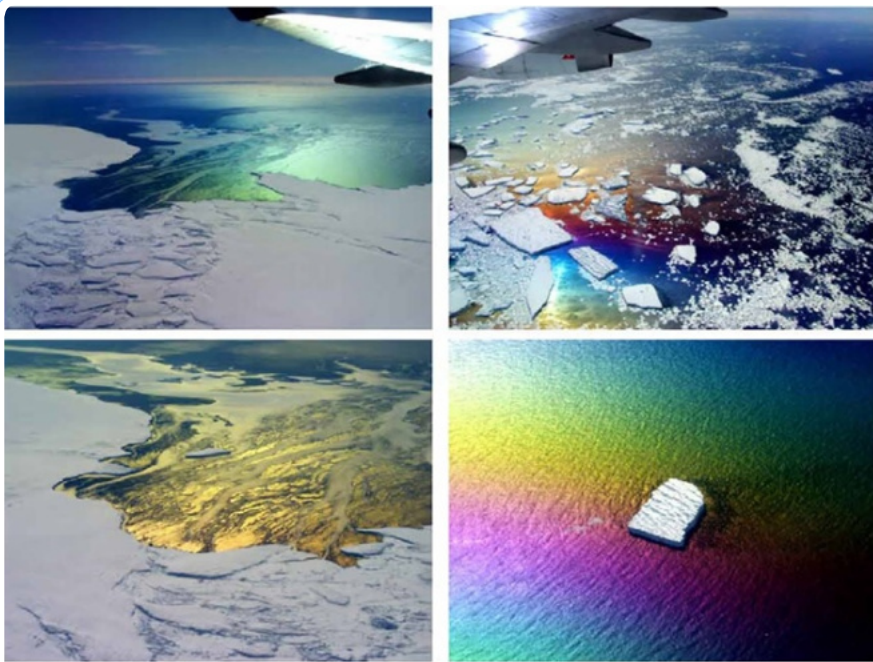
パンタナールに生息するサギの一種。



アオハシヒムネオオハシ

第27回環境問題研究会セミナーを開催

9月5日(土)川崎市の大山街道ふるさと館2階イベントホールにおいて、第27回環境問題研究会セミナーを開催しました。当初は4月25日の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、再三にわたって延期されたものです。今回は可能な限りの感染予防策を施すことにより、ようやく開催を實行できました。講師の永延幹男先生、当日参加された36名の皆様、開催に至るまで忍耐強く尽力されたすべての方々に、改めて感謝いたします。テーマは「南極から「ちきゅう」を観る」探験(検)の思考から。ご自身の体験と、日本および世界各国による南極観測の超広範で精密な実測値に基いて作成された、108枚のスライドを駆使し、自然哲学者の視座から、過去・現在・未来への知見を密度高く語られました。南極氷床の大規模融解の事実、



海氷・氷山が浮かぶ夏季南極海。2002年2月、3,000m上空から永延撮影。

「ちきゅう盆栽論」探験(検)するヒト(ホモ・エクスプロラチオニス)等々。詳細な報告は、同研究委員会から送られる予定です。(左・質疑応答後、前列中央が永延先生)



第21回パンタナール一日研修会

●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため再三にわたって延期されてきました、同研修会(ワンデイセミナー)を、11月21日(土)に、定員を削減した上で開催いたします。会場(東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターのセンター棟4階)、プログラム、参加費(2000円)等は変わりません。万一の状況によりさらに延期となる場合は、下記URLのホームページにてお知らせいたします。



一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook

.com/ledaproject.jp/

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット(印刷済み)、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>

レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>